

コロナに関する、偏見・差別・いじめの連鎖を断ち切ろう！

新型コロナウイルス感染拡大の影響によって、子どもたちの生活や教育の環境が大きく変わり、保護者の皆様も大変ご苦労されていることと思います。

また、各単位PTAでも、「会議ができない」「活動ができない」など、PTA 活動に対する悩みや戸惑いが多いとお聞きしています。

しかし、そのような中でも、自分たちにできることを見つけながら、様々な活動により子どもたちや学校を支えていただいている現状に、心より感謝申し上げます。

さて、最近では、茨城県内での感染拡大のニュースとともに、新型コロナウイルスに関する偏見や差別のニュースを耳にするようになりました。

全国では医療に従事する方のお子さんや、感染し治療を受けている方やそのご家族、クラスターが発生した学校の児童や生徒等が、差別や中傷を受けたりする事態となっており、子をもつ親である私たちにとって、大変心が痛むできごとです。

しかし、私たちの心がけ次第で、この状況は変えることができるはずです。

いまこそ私たちは、

- ・一人ひとりが、確かな情報を知り、
- ・差別的な言動には決して同調せず、
- ・子どもたちにも正確な情報をしっかりと伝えていきましょう！

私たちは、良き大人として、責任と自覚を持った行動を子どもたちに見せなければなりません。

“コロナを憎んで人を憎まず”、

私たちは、常におもいやりの気持ちをもって、

コロナに関する、偏見・差別・いじめの連鎖を断ち切っていきましょう！

令和2年8月

茨城県 PTA 連絡協議会会長 畠山 佳樹